

事業計画書

① 団体名	一般社団法人クリエイティブシティ高梁推進協議会
② 事業名	児童生徒・若者が地域で楽しく学び、活用できるICTコモンスの構築
③ テーマ区分	*いずれかにチェックし、指定テーマの場合は番号を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 指定テーマ (番号: 2) <input type="checkbox"/> 自由テーマ
④ 補助回数	*同一事業における補助回数(年数)について、いずれかにチェック <input type="checkbox"/> 1回目 <input checked="" type="checkbox"/> 2回目 <input type="checkbox"/> 3回目(経過措置) <input type="checkbox"/> 4回目(経過措置)
⑤ 現状及び課題	<p>【現状】                      イラスト制作・動画制作と編集・音楽制作・デジタルものづくり・3Dモデリング・ゲーム制作・データサイエンスなど、情報通信技術 (ICT) を活用する創造的活動は、生涯続く教養・娯楽としても、フリーランスを含め多様な就労機会を提供する技能としてもニーズが高い。とくに、土地の狭小性という制約がある中山間地域では、比較的高賃金の「クリエイティブ産業」にかかわる職業の創出は、若者の地域への定着のためにも重要である。</p> <p>【課題】                      上記活動のための機材やアプリケーションは高価で、個人購入は難しい場合が多い。事務作業用のアプリを除けば、機材やアプリケーションの実物を実際に触りながら、講師・講師補助者から学ぶ機会是一般に少ない。そこに行けばイラスト制作・動画制作と編集・音楽制作・デジタルものづくり・3Dモデリング・ゲーム制作・データサイエンスなどを体験でき、実際に学べる「コモンス」ともいえる場の提供と指導者の育成が必要である。</p>
⑥ 事業目的	児童・生徒や地域の若者が多様な人材と交流し楽しみながら、ICTを活用するイラスト制作・動画制作と編集・音楽制作・デジタルものづくりや・3Dモデリング・ゲーム制作・データサイエンスなどを学び、実践する場と機会を提供する。そのため、機材・アプリケーションを日常的に活用できる会場を地域のコモンスとして設置して、実際に触りながら楽しみ方や活用を学び、体験できる講座などのイベントを実施する。
⑦ 事業内容	<p>事業項目1 地域ICTクラブ常設会場の設置と運営</p> <p>※位置づけ(狙い)、内容、受益者(対象者)、実施地域、実施方法など                      児童・生徒を対象として、イラスト制作・動画制作と編集・音楽制作・デジタルものづくり・3Dモデリング・ゲーム制作・データサイエンスなどができるICT機材・アプリケーションを日常的に利用できるクラブ常設会場を設置する。</p> <p>会場は、高梁市内の交通が便利な場所(高梁市栄町)に設置し、講座(後述)の講師補助ができる知識・技能を備えたアルバイトを置き、定期的に開設する。持続可能性に配慮しながら、無料もしくは1回数百円程度の低価格で利用できるようにする。</p> <p>高価な機材やアプリケーションを購入しなくても、ICTクラブでの体験的な活動を通して、デジタル技術活用の創作活動やデータ分析などの基礎を学ぶことができる。</p> <p>また、ICTクラブで、成果を可視化できるような共通の目標を設定し、成果物等を常設会場に掲示・展示、又はHPで公開し、活用等ができるようにする。</p> <p>※学校で行う地域学や地域課題解決の授業の内容等も踏まえ、4月以降の実施体制の中で、具体的な目標を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ターゲット：やりたいことが見つかったり、興味ある分野を深めたい、体験・実践を積みたいなど、自主的な取組がある程度可能な児童・生徒等を想定</p> </div> <p>事業項目2 ものづくりやプログラミング体験ができる、児童生徒向けのクリエイティブ講座の開催</p>

	<p>上記ICTクラブの開催中に、主に小学生から高校生までの児童・生徒を対象として週2回程度開催する。地域の多様な人々と交流しながら、クリエイティブな創作活動の基礎となるプログラミングやデジタルものづくり、動画制作、デジタルお絵描きなど、楽しい体験を通してICTの活用を学ぶ機会を提供する。</p> <p>講座は基本的には事前予約制とし、人数が集まった時点で不定期に開催するほか、夏休み特別講座なども予定している。</p> <p>ターゲット：興味はあるが何をして良いか分からない、ICTに触れたこと</p>
	<p>事業項目3 キャリアアップ講座の開催</p> <p>新しく登場した産業や職業に関連する知識や、デジタル技術を活用する職業に就労するためのキャリア情報を提供する。具体的には、デジタル音楽制作(DTM)やゲーム開発、ウェブマーケティング、データサイエンスなどの産業・職業に関する知識・キャリア情報の提供を行う。</p> <p>講師は、地域の高等教育機関・学校や企業、団体のほか、地域外の諸機関・企業との協力を得て、専門の外部講師を招聘する。5回開催し、オンライン配信も活用してなるべく多くの人に参加機会を提供する。</p> <p>ターゲット：就労を目指す高校生・大学生、フリーランスや地域企業で働</p>
	<p>事業項目4 クラブ運営を通じての地域ICT化を担う人材の育成</p> <p>上記の講座の補助および、常設クラブ会場の運営を通じて、地域ICT化を担う人材を育成する。</p> <p>これまでの事業を通じ、吉備国際大学教員・学生、高梁市民、倉敷市民の計12名の講師補助者(メンター)を育成した。令和4年度以降においても、備中地域に居住・勤務する若者、学生を主たる対象として、講師補助者をリクルートして育成することで、地域ICT化を推進する人材の育成に努める。</p> <p>常設会場の管理・運営および講座の運営に先立って、講師補助者に対しては、アプリケーション操作などに関する講習を行う。</p> <p>*天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応</p> <p>常設会場でのクラブ運営に関しては、問題が解消するまで会場利用は中止する。講座はオンラインで開催可能な講座はオンライン開催とする。各回の講座は動画撮影を行って、オンデマンド方式で閲覧できるようにすることで、オンライン開催ができない講座の代替ができるように備える。</p>
<p>⑧事業の条件及びアピールポイント</p>	<p>先進性、先駆性、独創性</p> <p>岡山県内において地域ICTクラブは最初期の試み(総務省への登録がないことを確認済)</p> <p>備中地域への波及効果</p> <p>地域ICTクラブの常時利用と講座を通じて、地域のICTリテラシーを向上させることで、Society 5.0実現に寄与する人材を育成し、併せて地域のICTとその活用に関する理解を醸成する。</p> <p>県民局との協働による相乗効果</p> <p>事業費補助による地域ICTクラブの機材・アプリケーションのさらなる充実に加え、備中地域等でのクラブの広報範囲を拡大できることから、受講者・利用者・講師補助の参加が促進される。結果として、地域におけるICT活用人材の育成が促進される。</p> <p>その他、団体の持つ専門性やノウハウ等</p> <p>■若者向けクリエイター育成イベント(ゲームジャム)の開催</p> <p>2015年から高梁市役所・吉備国際大学を会場として、2日間でゲームを制作しその出来栄を競うイベント「ゲームジャム高梁」</p>

	<p>を開催。毎年30名以上のクリエイターおよび若者（大学生・専門学校生など）、児童・生徒が参加し高評価を得た。2021年度、備中県民局提案型協働事業の一部としてオンラインで開催した。中四国から30名以上のクリエイターおよび若者の参加を得た。</p> <p>■子供向けデジタル創作講座の開催</p> <p>2018年には、NPO法人国際ゲーム開発者協会日本の協力を得て、3Dゲーム開発環境Unityを活用し、複数人が協力してゲームを作る児童・生徒向けの「デジタルからくり装置づくりワークショップ」を開催した（2日間各1回、各回約15名参加）。</p>
<p>⑨今年度に期待される成果・効果</p> <p>(短期アウトカム)</p>	<p>県民（対象者）</p> <p>(1)クリエイティブ講座の参加者である児童・生徒が、ICTを活用するためのリテラシーや、ICTを活用して生活を豊かにできるという実感を得られる。</p> <p>(2)プログラミングやデジタルものづくり、動画制作、ゲームジャムなどを通じて、ICTを活用する創作活動の楽しさと、クリエイターとしての将来的活動のきっかけを得られる。</p> <p>(3)地域ICTクラブの活動とゲームジャム等のイベントで、様々な人との交流の中で、子ども・若者などが成長できる。</p> <p>(4)キャリアアップ講座を通じて、現代社会の大きな変化を理解し、キャリアアップや就労など自分自身のキャリア形成に役立てることができる。</p> <p>団体</p> <p>(1)常設的な活動の場を開設できる場所と機材・アプリケーションを得ることができる。</p> <p>(2)常設的な活動の場を開設し運用する経験を得る。</p> <p>(3)昨年度の子ども向け講座をさらに発展させることに加え、キャリアアップ講座の開設・運用ノウハウを開発できる。</p> <p>(4)将来的にクラブを持続的に運営するための人材を確保・育成できる（講座受講者に加え、講師補助者など）。</p> <p>備中地域</p> <p>(1)無料または低価格の利用料金で、高価なアプリケーションや機材を日常的に活用して、ICTの活用を体験し学ぶ場を地域に得られる。</p> <p>(2)ICT活用の楽しさや、生活を豊かにするICTの可能性を認識し、地域のICT化に理解ある地域住民が増加する。</p> <p>(3)ゲームジャムの見学やクラブの常設会場の設置を通して、地域のICTの受容や、クリエイターに対する理解が進む。</p>
<p>⑩将来的に期待される成果・効果</p> <p>(中・長期アウトカム)</p>	<p>県民（対象者）</p> <p>(1)クラブ常設会場の機器・アプリケーションの利用や、講座の受講、ゲームジャムの参加を通じて身に着けた知識やスキルによって、クリエイターやICTを研究開発・活用する人材として、社会で活躍できるようになる。</p> <p>(2)身近なコミュニケーションを超えて、動画制作や情報発信、デジタルものづくりなどを通じて、ICTをさまざまに活用して、生活を便利に豊かにできる。</p> <p>団体</p> <p>(1)常設の活動とすることによって、地域への認知度を高め、地域内に活動の必要性を周知することができる。</p> <p>(2)当団体が実施する活動が地域に浸透することによって、団体の目的である地域でのクリエイティブ産業を支える社会の構築を進めることができる。</p>

	<p>備中地域</p> <p>(1)メンター補助の若者や、地域ICTクラブで学んだ児童・生徒が育ち、高梁市および岡山県の地域産業の高度化および次世代産業の立ち上げを担う人材が成長している。</p> <p>(2)地域ICTクラブが地域ICT学修・活用の中核となり、地域の教育、医療、産業等分野の発展に貢献する。</p>																		
⑪今年度の成果目標と評価指標	<p>成果目標1 地域ICTクラブ常設会場の設置と運営</p> <p>目標：地域の多様な年代の方が活用できる地域ICTクラブ常設会場を設置し、運営する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価指標・測定方法</th> <th colspan="3">数値目標</th> </tr> <tr> <th>現状</th> <th>今年度</th> <th>(参考)〇年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者のべ人数 (各回の参加者数を数える)</td> <td>23人</td> <td>50人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>メンターの確保 (新規メンター登録のあった者で測る)</td> <td>12人</td> <td>新規10名以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標・測定方法	数値目標			現状	今年度	(参考)〇年度	参加者のべ人数 (各回の参加者数を数える)	23人	50人		メンターの確保 (新規メンター登録のあった者で測る)	12人	新規10名以上				
	評価指標・測定方法		数値目標																
		現状	今年度	(参考)〇年度															
	参加者のべ人数 (各回の参加者数を数える)	23人	50人																
	メンターの確保 (新規メンター登録のあった者で測る)	12人	新規10名以上																
<p>成果目標2 クリエイティブ講座とキャリアアップ講座の実施</p> <p>目標：ICT活用の創作活動などの楽しさを実感してもらおうとともにキャリアアップに役立つICT活用の知識を身に付けてもらう。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価指標・測定方法</th> <th colspan="3">数値目標</th> </tr> <tr> <th>現状</th> <th>今年度</th> <th>(参考)〇年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者のべ人数 (各回のオンライン参加者数を数える)</td> <td>新規事業</td> <td>300人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人へのお薦め度 (事後匿名アンケートを実施し、講座を人へお薦めした回数割合を5点満点の平均点で測る)</td> <td>新規事業</td> <td>3.5点以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>知識習得度 ※キャリアアップ講座 (事後匿名アンケートを実施し、自己評価を5点満点の平均点で測る)</td> <td>新規事業</td> <td>3.5点以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標・測定方法	数値目標			現状	今年度	(参考)〇年度	参加者のべ人数 (各回のオンライン参加者数を数える)	新規事業	300人		人へのお薦め度 (事後匿名アンケートを実施し、講座を人へお薦めした回数割合を5点満点の平均点で測る)	新規事業	3.5点以上		知識習得度 ※キャリアアップ講座 (事後匿名アンケートを実施し、自己評価を5点満点の平均点で測る)	新規事業	3.5点以上	
評価指標・測定方法		数値目標																	
	現状	今年度	(参考)〇年度																
参加者のべ人数 (各回のオンライン参加者数を数える)	新規事業	300人																	
人へのお薦め度 (事後匿名アンケートを実施し、講座を人へお薦めした回数割合を5点満点の平均点で測る)	新規事業	3.5点以上																	
知識習得度 ※キャリアアップ講座 (事後匿名アンケートを実施し、自己評価を5点満点の平均点で測る)	新規事業	3.5点以上																	
<p>成果目標3 ゲームジャム高梁の実施</p> <p>目標：ICT活用の創作活動や共同活動の楽しさを実感し、ICTに興味を持ち、継続した活動につなげてもらう。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価指標・測定方法</th> <th colspan="3">数値目標</th> </tr> <tr> <th>現状</th> <th>今年度</th> <th>(参考)〇年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数</td> <td>23人</td> <td>30人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>満足度・継続したい度 (事後匿名アンケートを実施し、自己評価を5点満点の平均点で測る)</td> <td>-(R3評価無)</td> <td>3.5点以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標・測定方法	数値目標			現状	今年度	(参考)〇年度	参加人数	23人	30人		満足度・継続したい度 (事後匿名アンケートを実施し、自己評価を5点満点の平均点で測る)	-(R3評価無)	3.5点以上					
評価指標・測定方法		数値目標																	
	現状	今年度	(参考)〇年度																
参加人数	23人	30人																	
満足度・継続したい度 (事後匿名アンケートを実施し、自己評価を5点満点の平均点で測る)	-(R3評価無)	3.5点以上																	
⑫中・長期的な成果目標	<p>(1)地域ICTクラブの運営を少なくとも5年以上継続する。</p> <p>(2)地域ICTクラブの規模を拡大し、クリエイティブ人材の育成センターに成長する。</p> <p>(3)地域ICTクラブの利用者・講座受講者から、高梁市および岡山県の地域産業の高度化および次世代産業の立ち上げを担う人材が育つ。</p> <p>(4)フリーランスも含め、地域でクリエイティブ産業やICT産業で就労する人々が増加し、地域の経済活性化および人口減少の歯止めとなる。</p>																		
⑬事業展開の	<p>2021年度・22年度の実績を基に、地域ICTクラブが持続的に発展するため、ICTクラブが目標とする活動への理解、そのための</p>																		

予定	環境整備、機能の向上、さらに地域の様々なステークホルダーからの支援、活動のための財源確保を出来る体制の強化を図る。
⑭ 役割分担	<p>団体 事業実施、本事業に関する企画・立案。事業計画に沿った進行管理、コロナ禍における実施に対して状況判断のもとにスケジュールに沿った事業遂行。 開催状況の記録。適宜事業の情報をHPやSNS等を通じて発信。翌年度以降も事業が継続するよう事業の質を高め、適正な評価を得るよう、地域の産学官民の協力支援を得るに足る成果をコミットすること。 保険加入。 報告書の作成。</p>
	<p>県民局 事業に対し、助言を行う。 参加者募集への協力。 マスコミを利用した広報により、事業成果を高める。 事業計画、役割分担に沿って、補助金の交付。</p>
	<p>その他の連携・協力団体（組織・団体名：吉備国際大学、岡山県立高梁高校、高梁城南高校、高梁市教育委員会、吉備ケーブルテレビなど地域企業、PTA等） 高等教育機関・学校・地域企業は講師や講師補助者（メンター）の供給に加え、参加者・受講者募集の広報上の協力、イベント実施時の協力など 高梁市教育委員会は、子どもの受講者募集や保護者の講師補助者協力の広報に加え、学校教育との連携に関して助言・協力、イベント実施時の協力など</p>

<記入上の注意事項>

- 1 各項目は、簡潔かつ明瞭に記入してください。
- 2 「④補助回数」欄の3回目及び4回目は、経過措置規定を適用した上で、令和2年度事業に採択された事業を令和3年度以降も継続実施している場合のみ選択ができます。
- 3 「⑤現状及び課題」欄は、事業実施の要因となる地域課題や問題点、社会的背景等について記入してください。なお、根拠となる統計データや当事者の声などがあれば、それも示してください。
- 4 「⑥事業目的」欄は、事業を通じて実現したいこと、目指す将来的な姿（社会、経済、生活、環境等）について、「⑤現状及び課題」、受益者（対象者）等を踏まえて記入してください。
- 5 「⑦事業内容」欄は、課題解決や「⑥事業目的」における位置づけ（狙い）とともに、内容、受益者（対象者）、実施地域、実施方法などを事業項目ごとに具体的に記入してください。また、天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応（代替案の検討、事業縮小、事業中止等）についても併せて記入してください。なお、事業項目数は適宜追加いただいて構いません。
- 6 「⑧事業の条件及びアピールポイント」欄は、事業条件としている広域性又は先進性、先駆性と協働による相乗効果に関すること、団体の持つ専門性やノウハウ等のアピールポイントについて具体的に記入してください。なお、先進性、先駆性は、他地域での先進例や成功例等もあれば、それも参考として記入してください。
- 7 「⑨今年度に期待される成果・効果」欄は、事業実施により得られる今年度の利益や変化等について記入し、「⑩将来的に期待される成果・効果」欄は、事業を継続して行うことで、将来的に得られる利益や変化等について記入してください。
- 8 「⑪今年度の成果目標と評価指標」欄は、今年度事業で目指すところ（短期の成果目標）を個別・具体的に3つ程度記入するとともに、事業を評価するための指標と、実施前（現状）と実施後（目標）の数値を記入してください。また、事業を継続される場合は、翌年度若しくは数年後（目標）の数値も参考として記入をお願いします。なお、具体的な数値が得られないもの（定性評価）についても、「何割程度の回答が得られる」などのように、できるだけ数値化し、状態の変化を測るよう努めてください。
- 9 「⑫中・長期的な成果目標」欄は、事業を継続、段階的に拡充するなどし、中・長期的に目指すところ（中長期の成果目標）について、具体的に記入してください。
- 10 「⑬事業展開の予定」欄は、「⑥事業目的」や「⑫中・長期的な成果目標」を踏まえ、翌年度以降に実施する予定の事業内容、組織体制、財源確保の手法、事業継続の工夫等について記入してください。
- 11 「⑭役割分担」欄は、協働協定書に基づく提案団体及び備中県民局の役割を簡潔に記入するとともに、その他の連携・協力団体の役割等を記入してください。
- 12 記入箇所が不足する場合は、必要に応じて行挿入等を行ってください。



## 日 程 計 画 表

年月	事業内容	場所	規模等
2022年5月	ICTクラブ高梁常設会場の設置	クラブ会場	
2022年6月	・「オンライン キャリアアップ講座『DTMを職業にしよう』」	ウェビナー	
2022年7月	・「オンライン キャリアアップ講座『データサイエンティストになるには』」	ウェビナー	
2022年8月	・夏休み体験教室「動画を作成しよう！」 ・「オンライン キャリアアップ講座『ゲーム産業が求めるスキル』」	クラブ会場 ウェビナー	
2022年9月	・「オンライン キャリアアップ講座『ポートフォリオ作成講座』」	未定	
2022年10月	・「ゲームジャム高梁2022」	ウェビナー	
2022年11月	・「オンライン キャリアアップ講座『フリーランス向け見積りの作り方』」	クラブ会場	
2022年12月	・クリスマス特別講座「LEDでクリスマスリースを作ろう」	未定	
2023年1月	・「シンポジウム『地方発コンテンツビジネスの可能性』」	未定	
2023年2月	「活動報告会」		
	※事業項目2 ・「Microbit と Scratch でプログラミング体験」 ・「ロボットアームを動かそう：プログラミングとデジタルものづくり講座」 は、5月から月2回程度隔週開催予定		

## &lt;記入上の注意事項&gt;

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください（例：〇〇市文化センター、△△市内）。不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」欄は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。不明な場合は未記入で構いません。

